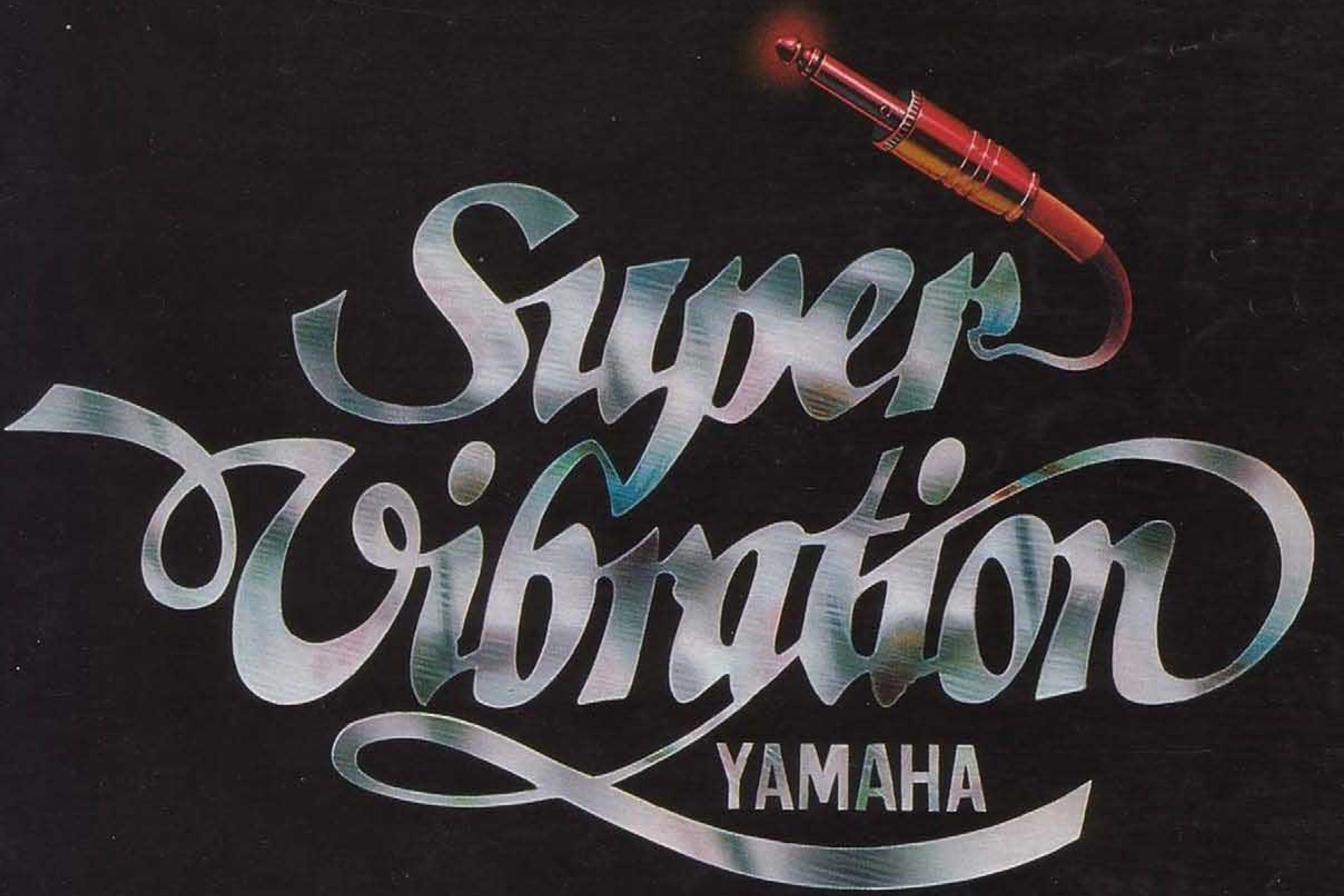
YAMAHA Electric Guitars Line Up



YAMAHA CONNECTION

そのスーパーなバイブレーション

ボディの材質や構造が
エレクトリックギターの音色に
決定的な役割りを果たす。
つまり、ボディは音源、「生の声」。

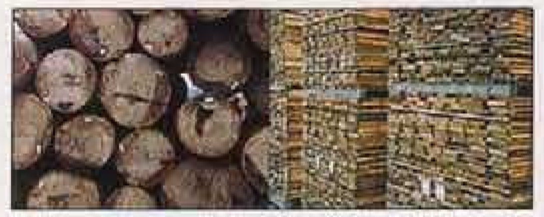
ボディ材の性質がダイレクトに音に出るソリッドギター。構造的には単一材からボディを削り出した単板構造と、ボディのトップとバックに異なった性質の素材を用いるラミネート構造がある。ヤマハのソリッドギターは、各シリーズごとに一貫したサウンドポリシーを貫くためにも素材を吟味・厳選。構造的にも理想的な完全ソリッドの削り出しボディを採用している。そして、ラミネートの原則はトップに固い性質の木を、バックに柔らかくて軽い木を用いること。つまり、トップで弦振動をガッチリとキャッチしてアタック感と音の張りを、バックでトップから伝わってきた音に深みやひろがりを出すわけだ。

●ラミネート構造はハンバッキングピックアップに不可欠だ。ちなみに固い木の単板にするとパキパキの薄い音に、柔らかい木の単板にするとパフパフの腰ぬけの音になってしまう。

セミアコの場合、ボディ構造全体のバランスで音が左右されてしまうものだ。現在のセミアコースティックモデルは、サウンドホールを持ちながらも中芯をウッドブロックで固めたセミソリッド的なボディが主流になっている。ウッドブロックは空洞をもつギターに特有のフィードバックを抑え、ソリッドギターなみの音の立ちあがりを作るとともに、ダイレクトスタッド方式のブリッジやテールピースをしっかりと固定する役割りももっている。ヤマハのセミアコSAは、中芯にメープルブロックをスプルースブレイスでサンドイッチした独創的なコンビネーションブロックを採用している。さらに、SA-2000Sと1200Sでは表板にスプルース単板を採用。比較的硬い表板を用いた他の機種(SA-1000 SA-700)のややソリッドな音に比べて、よりソフト&メロウな音を特徴としている。じっくりと弾き比べ、そして使い分けて欲しい。

フルアコはまず、生の音がしっかりしているかどうかが問題だ。とくにボディトップの材質、厚さ、木目に対する採り方・削り方などにより音色がびっくりするほど変わる。たとえば、カーブドスプルーストップは厳選されたひとつのスプルースブロックから内部響棒とも一体で削り出す方法。アーチドスプルース単板トップは一枚のスプルースを成型する方法だ。ヤマハのAEモデルはこれらの2つの手法がとられ、それぞれに特色をもった鳴りのいいボディを実現している。また、ボディ容積やボディトップ裏面の響棒の位置や形状も音色を決める重要なポイント。

ここでマテリアル・スタディ、木はどんな音を出すか。
〈メープル材〉：固く、密な木質は芯のあるタイトな音を生み、ソリッドハンバッカーのボディトップ材に不可欠だ。ネック材としても広汎に用いられる代表的な素材で、ステージ上でのライティング映えも申し分なし。〈マホガニー材〉：性質は柔らかく甘い粘りと艶のあるサウンドを生み、ソリッドハンバッカーのボディバック材としてよく使われる。ネック材としても多用され、メープル材と並ぶ代表的な素材だ。〈アルダー材〉：同じ柔らかな性質をもつマホガニー材の艶やかな粘りに対し、枯れたブロード感のあるサウンドを生みだしてくれる。フェンダー社のオールドモデルに使われ、幻のマテリアルとして有名なこのアルダー材を、ヤマハは独自のポリシーのもとにSF、SJ、SC、BBの各シリーズに採用。〈セン材〉：性質は比較的柔らかくクリアーですなおな音を生み、シングルボビンピックアップと好マッチング。ソリッドベースのボディ材としても活用されサウンドイメージにぴったりの木地の美しさも魅力だ。〈スプルース材〉：性質はすこぶる柔らかく、立ちあがりが丸くてあたたかなブロード感のあるサウンドが特徴。グランドピアノの響板にも使われる高級素材で、その響きは限りなくアコースティックだ。

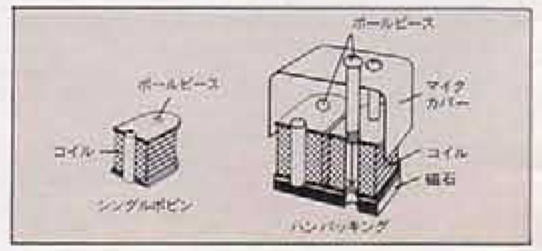


含水率8%と聞いて、ピンときたら相当なフリークだ。ヤマハのエレクトリックギターは原木の製材から出荷するまでの間に6つもの乾燥工程を経ている。1年以上にわたる自然乾燥から塗装工程の間に行なわれるシーズニングまで、期間の差はあってもそれぞれが重要な意味をもっており、そして最終的にボディ材の含水率はきっちり8%まで落とされるわけだ。グランドピアノと同じ規準にまで1本1本が。いいサウンド、安定したサウンドを得るための長年にわたる楽器づくりの経験から得た、貴重なデータのひとつである。

●耐候検査室 銘器への道は険しい。高温・高湿の耐久試験など徹底的にシゴかれる。一番手前はなんと冷凍室。

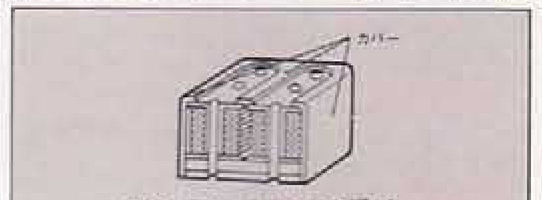
ボディサウンドが「生の声」なら
ピックアップは、いわばボーカルマイク。
ニュアンスよく再現できるかどうかは
やはりピックアップが問題だ。

音量や高域・低域を電気的にコントロールすることによって最終的にサウンドを決定づけるのがピックアップの役割だ。構造の違いによりシングルボビンタイプとハンバッキングタイプの2つのタイプがある。



シングルボビンピックアップはピックアップの基本的スタイルで、ボビン中央にポールピースがあり、その周りにコイルが巻かれた、コイルが1つだけのピックアップ。サウンドは中低域のすなおさと高音域のシャープネスが身上だ。ヤマハのシングルボビンピックアップはC、J、Rシリーズの3系統。中でもSCシリーズに採用しているバーマグネットタイプのCシリーズマイクは、ポールピースタイプと違って磁界の切れ目がなく、シングルボビンながらダイナミックレンジの広いサウンドが特徴。傾斜方式のマウントにより、各弦のトーンバランスも絶妙だ。

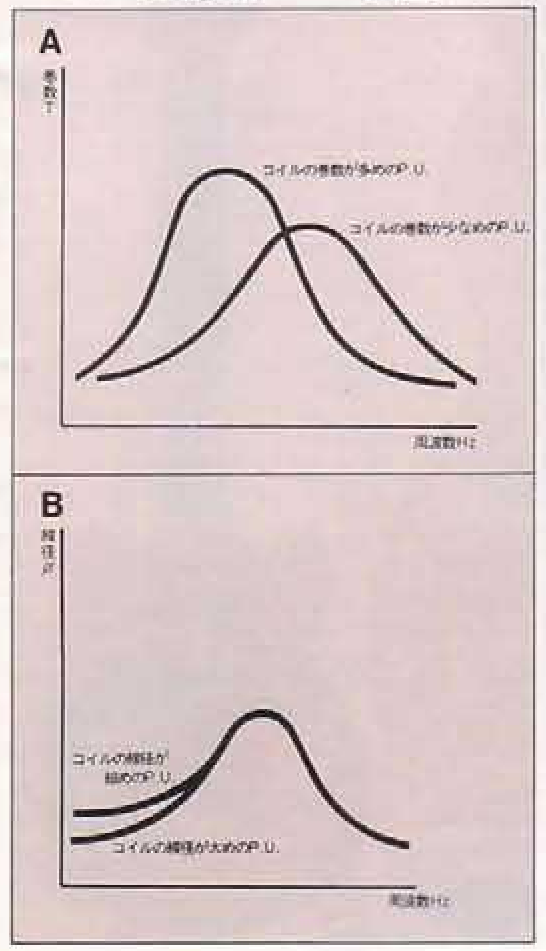
高感度で磁界が広いハンバッキングピックアップは、もとはと言えば、シングルボビンピックアップを直列につないで磁極をマッチングさせることでハムを打ち消すように設計されたタイプだ。ピックアップ面積も広いため音をよく拾い、伸びのあるサウンドが得られるというわけ。さらにハンバッキングピックアップはマイクカバーの有無によってオープンとカバードの2タイプに。オープンタイプはよりブライトで力強いハイパワーサウンドが、カバードタイプはメロウで甘さの中に歯切れのよさを秘めたサウンドが特徴だ。ヤマハのハンバッキングは独自の着磁方式をとるアルニコ合金製。しかもシリーズごとにコイルアレンジを変えて、それぞれのサウンドキャラクターを一層明確なものに。世界に誇るGシリーズマイクを筆頭にじつに5系統のピックアップがエントリーしている。とくにGシリーズ、Fシリーズの両オープンタイプは、セミオープンともいうべき独特のカバーをもちピッキングによるコイルの断線を防ぐと同時に、ハイパワー・低ノイズを実現。



独特のカバーがガッチリとコイルを保護する
G.F両シリーズのオープンハンバッキング

ベース弦の強大なエネルギーを確実にキャッチするために考案されたのがWポールピースピックアップだ。1本の弦に2コずつのマグネットを対応させてあるため、ピックアップ面積、磁界がともにひろがり感度も一段とアップ。全音域にわたって豊かで伸びのあるサウンドを再現し、サスティンの効いたサウンドにも強味を発揮する。ヤマハのソリッドベースは、SBにはポールピースを直線的に配置した8ポールピースピックアップを、BB、PBには1・2弦用と3・4弦用のコイルをセパレートさせたWポールピーススプリットピックアップを採用。とくにBBのB-Iマイクは、1・2弦用をネック側に、3・4弦用をブリッジ側に、つまりリバースにレイアウトさせることにより、比類ない音程感を保証しているのだ。

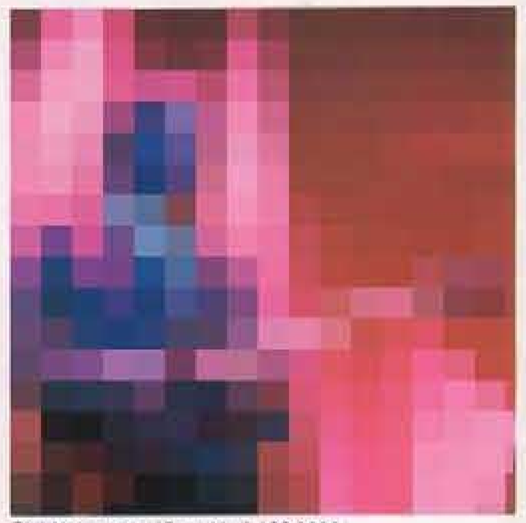
コイルアレンジはサウンドアレンジのかなめともいうべき、音色を決定する重要なファクターだ。たとえば同じカバードハンバッキングでもソリッドギターにマウントされているLシリーズマイクとセミアコのAシリーズマイクではスペックがまったく異なる。この違いを生みだすのがコイルアレンジ、つまりコイルの巻数と線径の微妙なアレンジなのだ。一般的に、コイルの巻数が多くなれば出力がアップすると同時にピークが低音側に移動する(図A)。また、コイルの線径が細くなるほど低音域の出力がアップする(図B)。ヤマハのピックアップは各シリーズごとに一貫したポリシーのもと、ボディサウンドのニュアンスを活かしきる絶妙なアレンジがほどこされている。



Johnny Graham (E, W&F) SG-2000

Al Mckay (E, W&F) SG-2000

George Johnson (Brothers Johnson) SG-2000



Phil Manzanera (Roxy Music) SG-2000

Roger Fisher (Heart) SG-2000, SC-1200

Scott Gorham (Thin Lizzy) SG-2000

Masayoshi Takanaka SG-1000

Yoshiaki Masuo SG-2000

Ryo Kawasaki SA-2000

Loius Johnson (Brothers Johnson) SB-1200S, BB-2000

Phil Lynott (Thin Lizzy) BB CUSTOM

Francisco Centeno BB-2000

SOLID
HUMBACKING
GUITAR
SG
SF
SL

SG

このヤマハを手にすると
世界を相手にする気分になるから不思議だ。
ザ・ソリッドハンバッカー「SG」

Carlos Santana　SG CUSTOM：1947年メキシコAutlan生まれ。プロミュージシャンだった父親の影響を受けて育つ。67年ロックとラテンを融合させたサウンドでレコードデビュー。官能的な味のある"泣きギター"は彼ならでは。代表作「ロータスの伝説」

(RS) レッドサンバースト

SG-2000

ヤマハ・ワンピース構造のルーツがここに。サウンド・ルックス・演奏性は極限でバランスされ、世界のトップアーティストの指名を受けるスーパーハンバッカー。

マイク＝ハンバッキングG-1×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン×2、3点SW×1
胴＝メープル＋マホガニー
棹＝メープル＋マホガニー／指板＝エボニー
胴・棹＝ワンピース構造
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ／重量＝4.5kg
¥150,000

(BS) ブラウンサンバースト

SG-1000

バイサウンドシステムに加えダイレクトサーキットも内蔵。SG特有の分厚くヘビィなサウンドを基調に、無限ともいえるサウンドバリエーションがライブで威力。

マイク＝ハンバッキングG-1×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン(プッシュロックSW付)×2、3点SW×1
胴＝メープル＋マホガニー
棹＝メープル＋マホガニー／指板＝エボニー
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ／重量＝4.4kg
¥100,000

(RS) レッドサンバースト

(BS) ブラウンサンバースト

NEW SG-800

テクニックを活かしきるオリジナルダブルカッタウェイ。メープル・ナトーのボディがよりハードな音創りを。バイサウンドシステムも内蔵のガッツなハンバッカー。

マイク＝ハンバッキングG-II×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン(プッシュロックSW付)×2、3点SW×1
胴＝メープル＋ナトー／棹＝マホガニー
指板＝ローズ
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ／重量＝4.1kg
¥80,000

(OS) オイルステイン

(PR) パーシモンレッド

NEW SG-600

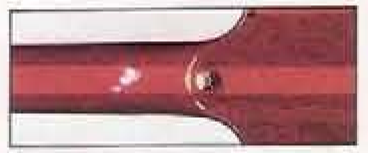
ラミネート削り出しボディ＋セットネック。分厚くヘビィなサウンドが魅力の高性能Gマイク。名門SGの血を全身にたたえた、本物指向のロック派のための1本。

マイク＝ハンバッキングG-II×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン×2、3点SW×1
胴＝メープル＋アガチス
棹＝マホガニー／指板＝ローズ
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ／重量＝3.8kg
¥60,000

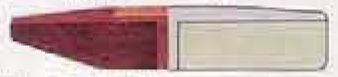
(BL) ブラック

(TS) タバコサンバースト

オーバーバインディングフレット
フレットを有効長いっぱいに延長した細心設計。弦落ちを防ぎチョーキングやビブラートはより確実。



ワンピース構造
ボディとネックを一体で削り出し。弦振動は理想のループを描いてロスなくボディを伝わりロングサスティンを保証。いわばヤマハ・ワンピース構造のルーツ。(SG-2000)

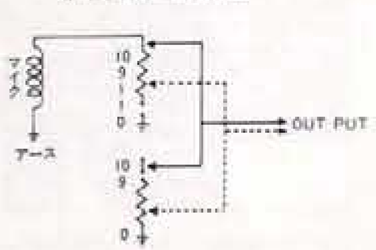


Tクロスメープル
メープルとマホガニーをT字型にかみ合わせたボディ構造。音源としての双方の長所をフルに引きだすための入念なアプローチ。(SG-2000)

オープンハンバッキング「G」
甘く艶やかなサウンドをFATにひきだすダイナミックレンジの広い高性能Gシリーズマイク。エスカッションは3点支持方式(高さ・角度の調整が可能)。

バイサウンドシステム
トーンノブを押すだけでハンバッキングピックアップからシングルボビンの音が出る驚異の秘密兵器。(SG-1000 SG-800)

ダイレクトサーキット略図



ダイレクトサーキット
トーン、ボリュームとも10(フル)にセットすれば高域は限りなくクリアー&ストレート。鮮やかに立ちあがるブライティストサウンド。(SG-1000)

ダイキャストブリッジ
ボディに直接アッセンブリされた高い剛性を誇るブリッジ。弦高調整、オクターブ調整もひと回り大きく正確なピッチを約束。SG-2000にはサスティンプレートも標準装備。

SF

西海岸とくればグレーハウンド。
ところがこいつ、フルアクセルで空を飛ぶんだ。
カラフルハンバッカー「SF」

24フレット・フィンガーボード
24フレット時代の到来をいち早く予見、なんと2オクターブをカバー。深いダブルカッタウェイ採用で、ハイフレット部でのポジション移動も格段に無理がなく、よりなめらか。

グレーハウンドピックアップ「F」
イカした愛称をもつFシリーズマイクは、SFのために開発されたオープンハンバッキング。ボディとのバランスは絶妙の一語。軽快な、独特のフライングサウンドを弾きだす。

バイサウンドシステム
プッシュロックSWを押すだけでハンバッキングピックアップからシングルボビンの音が飛びだす。(SF-1000)

メープルトップ・アルダーバック
乾いた、ブライトなサウンドをもたらす固いメープル＝6／柔らかいアルダー＝4の比率をとる独創のラミネートボディ(SF-1000 SF-700)。エフェクトのかかりがすこぶるいいのもSFモデルの見逃せない魅力だ。

バック＆トップカットボディ
腕、ボディとも軽くスリムにフィットするボディカッティングはハイテクニックを活かしきるためのアイデア。ピッキングは一段とスムーズ。

SF-1000

ロックエリアからフュージョンエリアへ。
時代をリードするブリリアントサウンド。あの
バイサウンドシステムも内蔵、プロの要求に
トータルな音楽性で応える頂点のSF。
マイク＝ハンバッキングF-I×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン×2
プッシュロックSW×1、3点SW×1
胴＝メープル＋アルダー
棹＝メープル/指板＝ストライプドエボニー
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝3.6kg
¥100,000

(OS)
オイルステイン

(YN)
イエローナチュラル

SF-700

メープル・アルダーのボディを得て特性を
フルに発揮する"グレーハウンド"。
歯切れよく心地よいディストーションが
魅力の、通好みのコレクターズアイテム。
マイク＝ハンバッキングF-II×2
コントロール＝ボリューム×2、
トーン×2、3点SW×1
胴＝メープル＋アルダー
棹＝メープル/指板＝ローズ
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝3.6kg
¥70,000

(ST)
ステイン

(PR)
パーシモンレッド

SF-500

セミアコ的発想を導入したユニークなソリッドボディ。高音部の演奏性を極限にまで高めた24フレット仕様。フュージョン感覚あふれる爽快なライトサウンドギター。
マイク＝ハンバッキングF-II×2
コントロール＝ボリューム×2、
トーン×2、3点SW×1
胴＝タウン＋マホガニー
棹＝マホガニー/指板＝ローズ
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝3.6kg
¥50,000

(BS)
ブラウンサンバースト

(IW)
アイボリーホワイト

SL

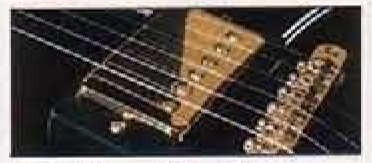
フリーク諸君、夢にまで見ただろう。もっとも
ロックを感じさせるトラッドなシングルカッタウェイ。
ロックギターの原点「SL」

スタンダードタイプ
白のピックガードが目印。力強く張りのあるアタッキーな音が魅力のメープルネックを採用。(SL-800S, 700S, 600S, 500S, 400S)

カスタムタイプ
黒のピックガードが目印。柔らかく深みのあるメロウな音が魅力のマホガニーネック採用のモデル。(SL-700C)

オーバーバインディングフレット
フレットを有効長いっぱいに延長した細心設計。弦落ちを防ぎチョーキングやビブラートはより確実。

オープンハンバッキング「L」
メープルトップ・メープルネックの特質をフルに引きだすパワーにあふれた分厚くヘビィなサウンドが特徴のL-IIIマイク。(SL-700S·500S)



カバードハンバッキング「L」
サスティンの効いた鳴きのよさ、甘さの中にも歯切れよさを秘めたサウンドが特徴。カバードタイプのLシリーズマイクはL-II、L-IV、L-Vの3機種の布陣。(SL-800S, 700C, 600S, 400S)

バイサウンドシステム
トーンノブを押すだけでハンバッキングピックアップからシングルボビンの音が飛ぶ驚異の秘密兵器。(SL-800S, 700S, 700C)

ダイレクトスタッドブリッジ
スタッドボルトによりボディに直接打ち込まれたブリッジは剛性の高いダイキャスト製。弦振動は直接ボディへ。サスティン効果も倍増。

SL-800S

本格派にふさわしいボディカラーが、入念な仕上げがギタリストの心を満たすプロクラスモデル。驚異のバイサウンドシステム内蔵、サウンドはパワフル＆カラフル。
マイク＝カバードハンバッキングL-V×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン(プッシュロックSW付)×2、3点SW×1
胴＝メープル＋マホガニー/棹＝メープル
指板＝ストライプドエボニー
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝4.3kg
¥80,000

(OS)
オイルステイン

(TS)
タバコサンバースト

SL-700C

マホガニーネックの特質が活きるアーシーなサウンドは、バイサウンドシステムを得てよりカラフル。華麗なステージパフォーマンスを約束するハイクラスの1本。
マイク＝カバードハンバッキングL-IV×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン(プッシュロックSW付)×2、3点SW×1
胴＝メープル＋マホガニー/棹＝マホガニー
指板＝ストライプドエボニー
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝4.3kg
¥70,000

(RS)
レッドサンバースト

(BL)
ブラック

SL-700S

ハードロッカーの要求にヘビィメタルなメープルサウンドで応える、ハイグレードなオープンハンバッカー。驚異のバイサウンドシステムはより多彩な音創りを可能に。

マイク＝オープンハンバッキングL-Ⅲ×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン（プッシュロックSW付）×2、3点SW×1
胴＝メープル＋マホガニー/棹＝メープル
指板＝ストライプドエボニー
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝4.3kg
¥70,000

SL-600S

サスティンの効きのよい音量感あふれるサウンドが身上。ライブステージで、スタジオセッションで、スタッフの信頼を一身に集めてしまうその高い完成度。

マイク＝カバードハンバッキングL-Ⅱ×2
コントロール＝ボリューム×2、
トーン×2、3点SW×1
胴＝メープル＋マホガニー
棹＝メープル/指板＝ローズ
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝4.3kg
¥60,000

SL-500S

奔放なチョーキングも確実にこなす細心のフレット仕上げ。ロックの原点を踏まえワイルドに、パワフルに、攻撃的なフレージングで迫るオープンハンバッカー。

マイク＝オープンハンバッキングL-Ⅲ×2
コントロール＝ボリューム×2、
トーン×2、3点SW×1
胴＝メープル＋アガチス
棹＝メープル/指板＝ローズ
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝4.3kg
¥50,000

SL-400S

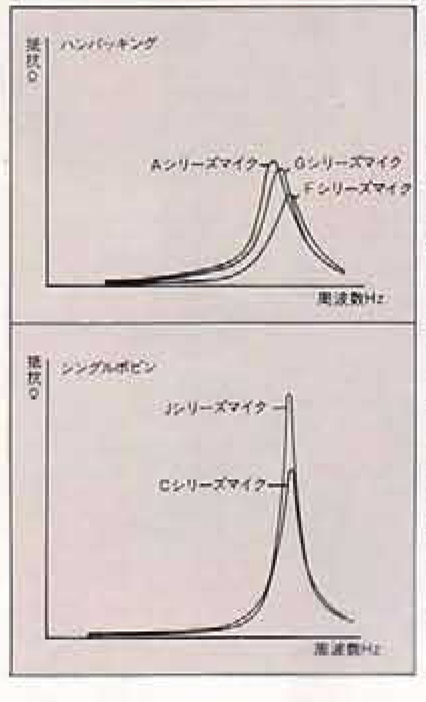
正統の手法を受け継ぐラミネート削り出しボディの本格派。リッチなハンバッキングサウンドがロック魂を根底から揺さぶるビギナー必携のハイコストパフォーマー。

マイク＝カバードハンバッキングL-Ⅱ×2
コントロール＝ボリューム×2、
トーン×2、3点SW×1
胴＝メープル＋アガチス
棹＝メープル/指板＝ローズ
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝4.3kg
¥40,000

Bob Marley (B.M.W.):1945年英国陸軍の退役少佐とジャマイカ女性との間に生まれる。単なるミュージシャンという存在を超えた、カリスマ的人物。「ラスタマン・バイブレーション」「エクソダス」など数々の名作を発表。文字通りの'King of Reggae'
●SG-1000

Steve Cropper:1941年ミシシッピー生まれ。ギタリストとしてだけでなく、コンポーザー・プロデューサーとしても有名。60年頃、ブッカー T&MG'Sに参加。以後、スタジオミュージシャンとして、幅広く活躍。
●SG-2000

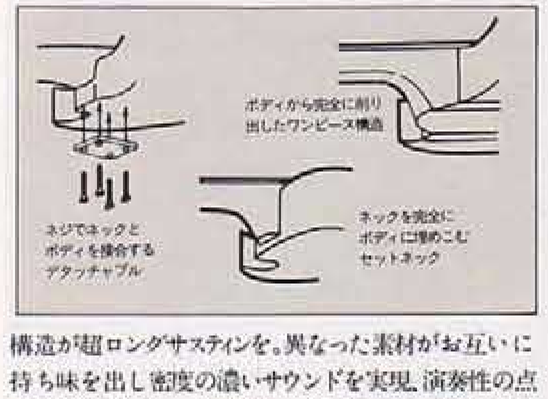
●ワイアリングフリークのためのピックアップガイダンス



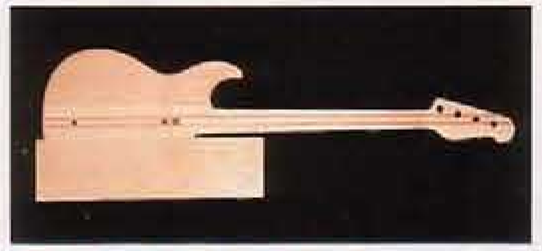
ヤマハの代表的なピックアップの電気的な特性を探ってみよう。まず上のグラフから。もっともハンバッキングらしいGマイク(SGモデル用)を基準にすると、ややコイルの線径が太く巻数の少ないFマイク(SFモデル用)が高域指向、やや線径が細く巻数の多いAマイク(SAモデル用)はセミアコ特有のふくよさかを重視した中低域指向の音創りをしていることがよくわかる。次に、シングルボビンのCマイク(SCモデル用)とJマイク(SJモデル用)。線径がやや細く巻数も多めのJマイクの鋭角的な音創りに対し、パーマグネットの特質が活きるCマイクのゆるやかなカーブはダイナミックレンジを重視した音創りのあらわれ。こうしたピックアップ個々の違いは、自分で直接弾いて実感してみよう。

ネックやフィンガーボード そして、フレットの仕上げにこそ クラフツマンの意気込みが あらわれるというものだ。

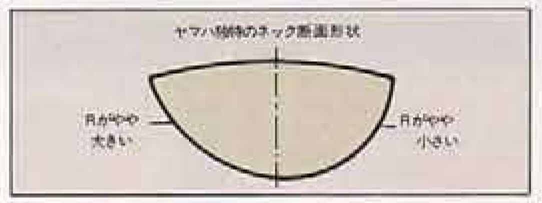
ネック材の性質も音に出る。 メープルトップにメープルネックを組み合わせたモデルの音が'メープルサウンド'、マホガニーバックにマホガニーネックを組み合わせたモデルの音が'マホガニーサウンド'と呼ばれるぐらい、ネックの材質は音に出てくる。メープルネックはパンチのあるクリアーな音が、マホガニーネックは甘く粘りのある音が魅力だ。**そして、ボディとの接続方法は音と演奏性の双方に**影響をもたらす重要なポイントだ。たとえばSG、SC、BB、SBシリーズの最高級モデルに採用されているワンピース構造は、メープルとマホガニーのコンビネーションでボディとネックを一体の削り出し。切れ目のない一体



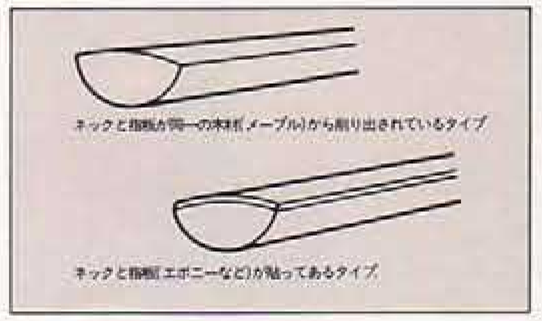
構造が超ロングサスティンを。異なった素材がお互いに持ち味を出し密度の濃いサウンドを実現。演奏性の点でも申し分なくハイポジション部でのフィンガリングは驚異的にスムーズだ。ねじれや反りに強い点も見逃がせない。先進のワンピース構造はダテじゃない。



ネックの断面形状にも注目して欲しい。 1弦側のR(孤)を6弦側のRよりも小さくとった独特のエッグシェイプの断面形状を全モデルに採用。楽器に不可欠な弾き応えを生む心地よい抵抗感とスムーズなフィット感を両立させるための入念設計がここにまで。

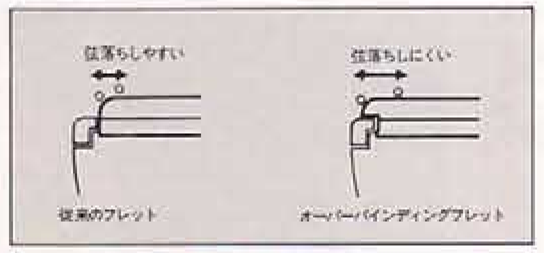


フィンガーボードも音を出す。 ローズはメロウな、エボニーはブリリアントな、メープルはメリハリのあるタイトなサウンドが特徴だ。もちろんネック材との組み合わせも重要なポイント。いいネックにはいいフィンガーボード、その絶妙のコンビネーションが絶妙のサウンドと演奏性をキープしてくれるというわけ。



ピックアップが違えばフレットも違う。 ハンバッキング系のモデルには2.7mm幅のフレットを採用、厚みのあるサウンドをさらにファットに。そしてシングルボビン系のモデルには2.0mm幅のフレットを採用、クリアーなサウンドをさらにシャープなものに。貪欲さで鳴らすクラフツマン。その心憎いばかりの配慮。

オーバーバインディングフレットに注目。 ネックにバインディングが施されたモデルはすべてフレットを有効長いっぱいに延長。弦落ちを防止し、チョーキングやビブラートはより確実。さらによりスムーズなフィンガリングを可能にするために、フレットの打込みと表面仕上げに細心の注意が払われているんだ。



ブリッジでギター選びをするギタリストもいる。 弦振動を最終的にボディに伝え、音の伸びやピッチを左右するブリッジは、パーツ群の中でも最も重要なものである。ヤマハでは、各シリーズの特性に合わせ、より微妙な弦高調整やオクターブ調整が可能なタイプを採用。さらにSG-2000ではサスティンプレート内蔵の、SC、SJ、SB、BBの各シリーズではサスティンブロック内蔵のブリッジが与えられている。

ギターづくりの現場を ズームで熱写。

●ネック削り：スムーズなフィット感と弾き応えで定評のヤマハ独特の断面形状を得るために、入念に削り出されていく。1本1本が。

●フレット仕上げ：フレットの打込みは音程に、仕上げは演奏性に直接影響を与えるだけに、ともにナーバスな神経が要求される。

●水研ぎ：下塗りされたボディを極微粒子のペーパーで均一に研ぐ。塗装ムラは音にも悪影響。美しいボディは銘器の必須条件だ。

SOLID
SINGLEBOBIN
GUITAR
SC
SJ
SR

Cornell Dupree (Stuff) SJ-800 ：ジョニー・ギター・ワトソンなどを聴いて刺激され、独学でギターを始める。ブルージィでエネルギッシュなプレイは、彼の根城N.Y.でも、定評がある。幾度か来日。

SC

何げない顔して13通りの曲射ちとは驚いた。
なるほどスゴ腕のステージハンターだ。
脅威のパーマグネットサウンド「SC」

(NT)
ナチュラル

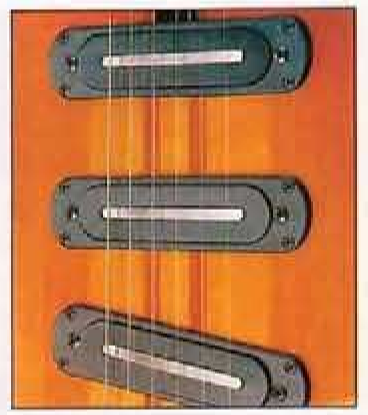
(ST)
スティン

SC-1200

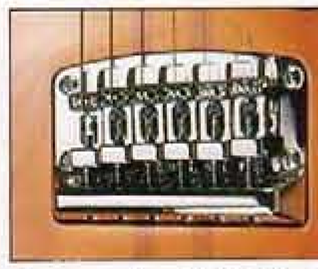
これ以上に何が望めるだろう。正統性と先駆性が見事に調和、次代をになうと定評のオールラウンドなシングルボビンモデル。伝統のワンピース構造をもつ最高峰のSC。

マイク＝パーマグネット・シングルボビンC-1×3
コントロール＝ボリューム×1、
トーン×1、3ポジションフェイズSW×3
胴＝アルダー＋メープル＋マホガニー
棹＝メープル＋マホガニー／指板＝エボニー
胴・棹＝ワンピース構造
糸巻＝ヤマハ・ダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ／重量＝3.7kg
¥120,000

ワンピース構造
ボディとネックを一体で削り出し。弦振動は理想のループを描いてロスなくボディを伝わり、無類にナチュラルなサスティンを保証。(SC-1200)



パーマグネット・シングルボビン「C」
ピッキングに対するリニアな反応はパーマグネットタイプならでは。ボディサウンドを確実にカムアウトするシングルボビンの雄CシリーズマイクChoーキングによる音落ちも完璧に解消、音量感のあるウォームな中域とキレのよい高域が特徴。



サスティンブロック内蔵ブリッジ
剛性にすぐれたダイキャストを使用。ボディ裏側まで貫通するサスティンブロックをそなえ、弦振動はダイレクトにボディへ。弦高調整、オクターブ調整もひと回り大きく、ベストチューニングを保証。
3ポジションフェイズSW
ピックアップ1基ごとに3ポジションのフェイズSWを1コ。自由なサウンドプログラミングでサウンドカラーは13通り、その抜群のライブ特性。

●フェイズSWの組み合わせ
（第1マイクを基準にする場合）

	マイク1	マイク2	マイク3	サウンド
1	＋	OFF	OFF	シンプルで力強くクリアーな音
2	OFF	＋	OFF	
3	OFF	OFF	＋	
4	＋	＋	OFF	ハーフトーンサウンドやや落ち着いた音
5	OFF	＋	＋	
6	＋	OFF	＋	
7	＋	＋	＋	
8	＋	−	OFF	フェイズアウトサウンド低域のカットされたブライトな音
9	OFF	＋	−	
10	＋	OFF	−	
11	＋	−	＋	
12	＋	＋	−	
13	＋	−	−	

⊕正相、⊖逆相

SC-1000

卓越した演奏性のスリムネック。操作性のよいコントロール系にはダイレクトサーキットも内蔵。パーマグネットサウンドのもち味を存分に弾きだすオールマイティモデル。

マイク＝パーマグネット・シングルボビンC-1×3
コントロール＝ボリューム×1、
トーン×1、3ポジションフェイズSW×3
胴＝アルダー／棹＝メープル
指板＝ストライプドエボニー
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝ヤマハ・ダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ／重量＝3.6kg
¥100,000

SC-800

アルダーボディとパーマグネットピックアップのスーパーコンビネーション。音量感豊かなサウンドをバランスよく、プレゼンスよく弾きだす完成度の高さを誇る1本。

マイク＝パーマグネット・シングルボビンC-1×3
コントロール＝ボリューム×1、
トーン×1、3ポジションフェイズSW×3
胴＝アルダー／棹＝メープル
指板＝ストライプドエボニー
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝ヤマハ・ダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ／重量＝3.6kg
¥80,000

SC-700

クリアーにしてパワフルな響き。さらに脅威の13音色を繰りだす3基のフェイズスイッチ群がプレイヤーのイメージを余すところなく伝えきるスタンダードなSC。

マイク＝パーマグネット・シングルボビンC-1×3
コントロール＝ボリューム×1、
トーン×1、3ポジションフェイズSW×3
胴＝アルダー／棹＝メープル
指板＝ローズ
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝ヤマハ・ダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ／重量＝3.6kg
¥70,000

(YN)
イエローナチュラル

(ST)
スティン

(YN)
イエローナチュラル

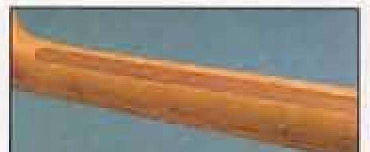
(PR)
パーシモンレッド

(IW)
アイボリーホワイト

(BL)
ブラック

SJ

ジャムの常連はとめどなく凝る、つまり欲が深い。
だからジキルとハイドの2マイク。
音創りに燃える「SJ」



メープルワンピースネック
握りやすいスリムなシェイプ、ネック自体がフィンガーボード。バックの幅広のストライプは、反りやねじれに強い強化ワンピースネックの証。

ハンバッキング/シングルボビン
フロントにはヘビィで粘りのあるハンバッキングサウンドが得られるGシリーズマイク。リヤには歯切れのよいシャープなシングルボビンサウンドが得られるJ-Iマイクを搭載した独特のピックアップレイアウト。卓越したライブ特性が特徴。

バイサウンドシステム
プッシュロックSWを押すだけでハンバッキングピックアップからシングルボビンの音が飛びだす。(SJ-800)

メープルトップ・アルダーバック
ハンバッキング、シングルボビン双方のサウンドを活かしきるユニークなラミネート削り出しボディ。フィット感がすばらしい細心のボディカッティングが抜群の演奏性を約束。

スチール切削ブリッジ
ブラスよりもなお剛性が高くよりソリッドな音を生むスチール切削ブリッジを採用(SJ-800)。SJ-500には柔らかくまとまったサウンドを生むダイキャストブリッジを採用。

SJ-800

プロのニーズに応えるバイサウンドシステム。
スチール切削ブリッジはよりソリッドな音を。
ニューヨーク派フュージョンのうねりを
鋭く捉えたコンテンポラリーなソリッドギター。

マイク＝(前)ハンバッキングG-II×1(後)シングルボビンJ-I×1/コントロール＝ボリューム×1
トーン×2、プッシュロックSW×1、3点SW×1
胴＝メープル＋アルダー/棹＝メープル
指板＝メープルワンピース
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝3.8kg
¥80,000

SJ-500

ダイキャストブリッジがオールマイティなサウンドを。抜群の演奏性とカラフルな
音創りがジャム心を揺さぶる
ビギナーのためのベストバイモデル。

マイク＝(前)ハンバッキングG-III×1/(後)シングルボビンJ-I×1/コントロール＝ボリューム×1
トーン×1、3点SW×1
胴＝メープル＋アルダー/棹＝メープル
指板＝メープルワンピース
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝3.8kg
¥50,000

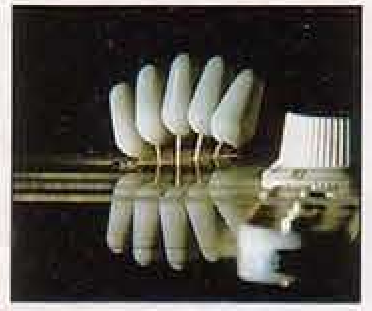
SR

ギター遍歴はここから始まった、と言う先輩
ギタリストが何と多いことか。スリリングな
アームプレイがロックの真髄に迫る「SR」

クルーソンタイプ糸巻
オールドシェイプのマシンヘッドにこそふさわしいクルーソンタイプ糸巻の、実感！オールド。(SR-500S)

シングルボビン「R」
タイトで歯切れのよい広帯域サウンドをプレゼンスよく弾きだす高感度Rシリーズマイク。新開発のR-IIIマイクは軽く透明なクリスタルサウンドが特徴、みごとに甦った'54年代のバイブレーション(SR-500S, SR-400S)。

シンクロナイズド・トレモロユニット
ブリッジアッセンブリにセットされたトレモロユニット。繊細なビブラートから、ダイナミックなビブラートまで弾き手の意のままにクリエイト。



ロータリー式5ポジションSW
3つのピックアップのそれぞれの中間位置にぴたりとセットでき、ハーフトーンも思いのまま。(SR-700)

プレスブリッジ
あたたかくやわらかなシングルボビンサウンドが得られるトラディショナルなプレスブリッジ。(SR-500S, SR-400S)

SR-700

セン単板削り出しボディにスリムなメープルワンピースネック。オールドシェイプのヘッドと深いボディカッティング。ずばぬけたプレイヤビリティを誇るハイグレードなSR。

マイク＝シングルボビンR-I×3
コントロール＝ボリューム×1、トーン×2、
5ポジションSW×1
胴＝セン単板/棹＝メープル
指板＝メープルワンピース
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝3.8kg
¥70,000

NEW SR-500S

センボディとハードメープルネックが好マッチング。糸巻はクルーソンタイプ。抜けのよいクリスタルサウンドがシャキッと決まる、オールドの雰囲気を伝えきる本格派。

マイク＝シングルボビンR-III×3
コントロール＝ボリューム×1、
トーン×2、3点SW×1
胴＝セン/棹＝ハードメープル
指板＝ハードメープルワンピース
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝クルーソンタイプ
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝3.7kg
¥50,000

NEW SR-400S

甦る'54年代サウンド。トリッキーなアーミングを、ハイトーンを活かしたソロプレイを、抜群の一体感で支える正統派ロックンローラー必携のスタンダードな1本。

マイク＝シングルボビンR-III×3
コントロール＝ボリューム×1、
トーン×1、3点SW×1
胴＝セン/棹＝ハードメープル
指板＝ローズ
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝ヤマハプレス
弦＝スーパーライトゲージ/重量＝3.7kg
¥40,000

ELECTRIC ACOUSTIC GUITAR SA AE

Jeff Mironov SA-2000S：1949年ニュージャージー生まれ。ブルージィで力強い、ジャズフレーバーあふれるプレイはモーニングアイランド公演で好評を博した。N.Y.を代表するセッションマンのひとりで"感覚のギタリスト"と呼ばれている。

SA

ソリッドギターを究めたら
手にして欲しい。世界のトップギタリストが激賞。
究極のセミアコースティック「SA」

(BU)
バーガンディレッド

NEW SA-2000S

厳選された素材。細部にまで一貫した入念な仕上げ。ハード面でも可能な限りの機能を搭載。その粒立ちのよいサウンドが弾き手の感性に応えるセミアコの逸品。

マイク＝ハンバッキングA-Ⅰ×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン(プッシュロックSW付)×2、3点SW×1
胴＝アーチドスプルース単板トップ
中芯＝スプルース＋メープル/棹＝マホガニー
指板＝エボニー/胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝ライトゲージ/重量＝3.9kg
¥160,000

(AS)
アンティークステイン

(BS)
ブラウンサンバースト

NEW SA-1200S

よりメロウな、ふくよかな音のひろがりはアーチドスプルース単板トップがあればこそ。バイサウンドシステム内蔵。幅広い音楽性をそなえたプロ仕様のセミアコ。

マイク＝ハンバッキングA-Ⅱ×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン(プッシュロックSW付)×2、3点SW×1
胴＝アーチドスプルース単板トップ
中芯＝スプルース＋メープル/棹＝マホガニー
指板＝ストライプドエボニー/胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝ライトゲージ/重量＝3.9kg
¥120,000

(BU)
バーガンディレッド

SA-1000

スコアの裏にひそむニュアンスさえ探りあてしまう無類の一体感、絶妙のサウンドクオリティ。トップアーティストの熱い支持がつづくハイクオリティな1本。

マイク＝ハンバッキングA-Ⅱ×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン×2、3点SW×1
胴＝カバ＋ブナ/中芯＝スプルース＋メープル
棹＝マホガニー/指板＝エボニー
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝ライトゲージ/重量＝4.1kg
¥100,000

(BR)
ブラウン

(PR)
パーシモンレッド

SA-700

暖かくメロウな響きからタイトでシャープなソリッドの味まで表情豊かに表現。ブルースから、ロック、フュージョンまでをカバーするバランスのよいスタンダードSA。

マイク＝ハンバッキングA-Ⅲ×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン×2、3点SW×1
胴＝カバ＋ブナ/中芯＝スプルース＋メープル
棹＝マホガニー/指板＝ローズ
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝ライトゲージ/重量＝4.1kg
¥70,000

(YN)
イエローナチュラル

(PR)
パーシモンレッド

オーバーバインディングフレット
フレットを有効長いっぱいに延長した細心設計。弦落ちを防ぎチョーキングやビブラートもより確実。

カバードハンバッキング「A」
メープルブロックにスプルースブレイスを貼り合わせた中芯をもつSA。その微妙な箱鳴りを活かしきるAシリーズマイクが、深みのあるアコースティックな中低域からシャープで切れのよい高域、ナチュラルなサステインまで表情豊かに表現。

バイサウンドシステム
トーンノブを押すだけでハンバッキングの片側がシャントされシングルボビンとして機能する独自のシステム。幅広い音色創りを。(SA-2000S SA-1200S)

ダイレクトスタッドブリッジ
スタッドボルトでボディに直接アッセンブリされたブリッジ。弦振動をロスなくダイレクトにボディへ。

ストップテールピース
弦揺れを防ぐとともに弦をパーフェクトにホールド。音の伸びと余韻を余すところなく引き出すことに成功したSA先進のアプローチ。

NEWアーチドスプルース単板トップ
厳選された1枚のスプルースを成型したアーチドスプルース単板トップを採用。彫りの深い、ニュアンス豊かな箱鳴りを得るための贅を尽したアプローチ。中低域は限りなくアコースティックに。トップ裏面には入念なバックシール処理。(SA-2000S SA-1200S)

AE

入念な仕上げは芸術品の風格。
ヤマハ・クラフツマンの良心を結集させた
ボイス・オブ・アコースティック「AE」

(AS)
アンティークスサイン

AE-2000

ジャズ心あふれるその限りなく甘く繊細な
サウンド。オーソドックスな手法を
とることにより最高の音、最高の演奏性を
獲得したフルアコースティックの芸術品。

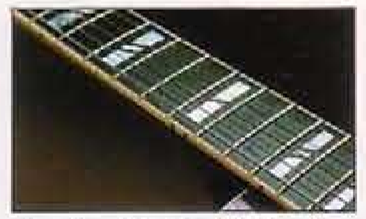
マイク＝ハンバッキングE-1×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン(プッシュロックSW付)×2、3点SW×1
胴＝カーブドスプルース削出しトップ
棹＝メープル/指板＝エボニー
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝ギブソン040L/重量＝3.7kg
¥200,000

AE-1200

よりブリリアントなサウンドはフュージョン
音楽に一層豊かなニュアンスを。独自の
バイサウンドシステムも内蔵。プロクラス
ユーザーのコレクションに不可欠な逸品。

マイク＝ハンバッキングE-1×2
コントロール＝ボリューム×2、トーン(プッシュロックSW付)×2、3点SW×1
胴＝アーチドスプルース単板トップ
棹＝メープル/指板＝ストライプドエボニー
胴・棹＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝ギブソン040L/重量＝3.6kg
¥120,000

(AS)
アンティークスサイン



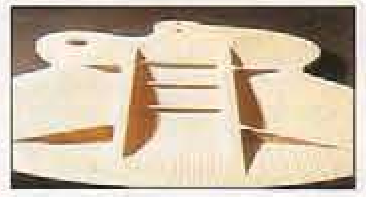
オーバーバインディングフレット
フレットを有効長いっぱいに延長し弦落ちを防止。ポリリズミックなフレージングも滑らかにこなす薄目で幅広なオールドシェイプのネックを得て卓越した演奏性を実現。

カバードハンバッキング「E」
鳴りのいいボディを得て、パワーよりもむしろクオリティに重きをおいて開発されたEシリーズマイク。エスカッションは3点支持方式。

厳選されたブリッジ材
ブリッジにはグラナディラ(AE-2000)およびエボニー(AE-1200)を採用。とくに、グラナディラはクラリネットの管体部に用いられる高級素材。

耐久構造
プロの酷使に応える、太い弦の張力に耐えるネック構造。表板の割れを防ぐ入念なバックシール処理。

バイサウンドシステム
幅広い音創りを可能とするとともにフルアコだからこそ活きるこのシステム。ふくよかな音と枯れた音。矛盾するアーチストのニーズを両立させてさらに、ハウリングキャンセラーとしても有効に機能。ライブパフォーマンスは一段と向上。



カーブドスプルース削り出しトップ
厳選されたスプルースブロックを内部響棒とともに完全に削り出したカーブドスプルース削り出しトップ。ふくよかな表情をもつサウンドを得るための高度な手法。(AE-2000)

アーチドスプルース単板トップ
箱鳴りを活かす理想的な響棒配置とのコンビネーションにより、ふくらみのある中低域と明かるくシャープな高域の両立に成功。(AE-1200)

SOLID BASS GUITAR SB BB PB

Verdine White(E, W&F) BB-2000：現在、最もクリエイティブな音楽家集団E,W&Fにおいてなお、ソリッド&タイトなベースワークで強烈な個性を維持。短距離走者としてオリンピックをめざしたこともある。ホワイト兄弟の次弟。メンフィス生まれ。

SB

何という破壊力。重低音きわだつ
ウルトラハードなサウンドメイクに押しつぶされないだろうか。
よりスーパーに変貌「SB」

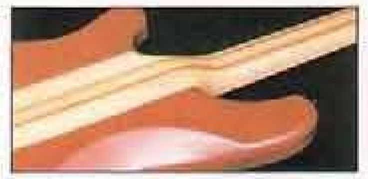
(CP)
コンバインドパーシモン

NEW SB-1200S

聴衆の眼を奪う華麗なコンバインドボディ。
聴衆のソウルを揺さぶる渾身のハード
パンチ。よりソリッドな音創りの道をひた
すら進む、プロ仕様のファンキーベース。

マイク＝(前)8ポールピース・シングルボビンS-Ⅲ×1(後)8ポールピース・シングルボビンS-Ⅳ×1
コントロール＝ボリューム×2、トーン×1
胴＝メープル＋ナトー＋マホガニー
棹＝メープル＋マホガニー
指板＝メープル/胴・棹＝ワンピース構造
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝ラウンドワウンド/重量＝4.6kg
¥120,000

(CS)
コンバインドステイン



ワンピース構造＆メープルネック
超ロングサスティンが魅力のワンピース構造(SB-1200S)。ヘビィなサウンドをタイトに引き締めるメープルワンピースネック(SB-800S, SB-500S)。フレットは21、サウンドにより幅が。

8ポールピース・シングルボビン「S」
1本の弦に2コずつのマグネット。ベース弦の強大な振幅をパーフェクトに捉えるチョコレートカラーのS-III、IVマイクは、固くて芯のあるソリッドなベースサウンドをプレゼンスよくカムアウト。多彩なサウンドメイクは2マイクならでは。

サスティンブロック内蔵ブリッジ
サスティンブロックを内蔵した高い剛性を誇るダイキャスト製ブリッジを採用。しかもビブラートやチョーキングによる横ぶれをパーフェクトに押えるガイドライン付。

トルク調整付糸巻
バックラッシュのない高精度ギヤ使用。大きなギヤ比で正確なチューニングを約束するプロ仕様糸巻。

サンドイッチ＆コンバインドボディ
ナトーをトップとバックからメープルではさんだ三層のサンドイッチボディ(SB-800S)。これに7ピースのメープルとマホガニーを組み合わせたワンピース構造とるコンバインドボディ(SB-1200S)。芯の太い、ソリッドサウンドの極限を求めた超弩級設計。

BB

フュージョン系スーパーベーシストの
怒涛の出現が先かBBが先か。
ソリッドベース界を領導する「BB」

BB-2000

ワンピース構造のボディにマイクが2基、
ジャンルを超え幅広い音楽性で対応。
卓越したライブ特性を誇るプロ仕様のBB。
マイク＝(前)Wポールピース・スプリットタイプB-1×1(後)パーマグネット・シングルボビンB-II×1
コントロール＝ボリューム×1、
トーン×1、3点SW×1
胴＝アルダー＋メープル＋マホガニー
棹＝メープル＋マホガニー
指板＝ストライプドエボニー
胴・棹＝ワンピース構造
糸巻＝ヤマハ・ダイキャスト・トルク調整付
弦＝ロートサウンド・スイングベース弦
重量＝4.5kg／￥150,000

(ST)
ステイン

(YN)
イエローナチュラル

NEW SB-800S

三層のサンドイッチボディが重いナトーと固いメープルの特性を巧妙にバランス。ソロであれサポートであれ重低音を音程感よく。テクニックが活きる2マイクベース。
マイク＝(前)8ポールピース・シングルボビンS-III×1(後)8ポールピース・シングルボビンS-IV×1
コントロール＝ボリューム×2、トーン×1
胴＝メープル＋ナトー
棹＝メープル/指板＝メープルワンピース
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝ラウンドワウンド/重量＝4.5kg
￥80,000

(OS)
オイルステイン

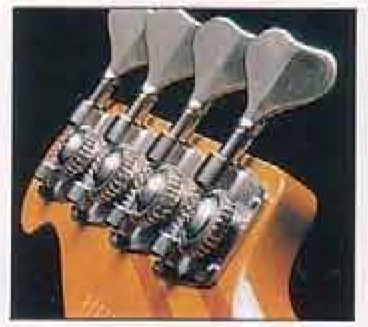
(PR)
パーシモンレッド

NEW SB-500S

糸巻はワンランク上のトルク調整付。ブリッジはサスティンブロック内蔵の高剛性仕様。ズッシリと重いナトーサウンドが武器の、豪快なベースラインがきわだつ1本。
マイク＝(前)8ポールピース・シングルボビンS-III×1(後)8ポールピース・シングルボビンS-IV×1
コントロール＝ボリューム×2、トーン×1
胴＝ナトー/棹＝メープル
指板＝メープルワンピース
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝ラウンドワウンド/重量＝4.3kg
￥50,000

(BL)
ブラック

(BS)
ブラウンサンバースト



トルク調整つき糸巻
バックラッシュのない高精度ギヤを使用。大きなギヤ比で正確なチューニングを可能にしたプロ仕様糸巻。

21フレット・フィンガーボード
第1弦でEまでをカバーし、ブロードにサウンドクリエイト。入念にフィニッシュされた表面部には荘麗な白蝶貝のポジションマークが。

リバースレイアウト・Wポールピーススプリットタイプ「B-1」
1・2弦用をネック寄り、3・4弦用をブリッジ寄りにセパレートさせたBB独特のB-1マイクが、比類のない音程感を保証。トーンバランスにすぐれたブロードなサウンドを引きだし、サスティンの効きも十二分。

パーマグネット・シングルボビン「B-II」
BB-2000のために開発されたリヤ専用のB-IIマイク。ソリッドな、腰と粘りのあるサウンドがピックアップされライブ特性はいちだんと向上。

ダイキャストブリッジ
ブリッジをぴたり、ダイキャストプレートにホールド。しかもガイドラインが刻まれ、ビブラートやチョーキングによる横ぶれをパーフェクトにシャットアウト。ベース弦の強大なエネルギーをロスなくボディへ。

ワンピース構造
ボディとネックを一体で削り出し。弦振動は理想のループを描いてロスなくボディを伝わり、ナチュラルなロングサスティンを保証。(BB-2000, BB-1200)

BB-1200

ソリッドベースの先進性にウッドベースの音楽性が加わったとまで評される高い完成度。ヤマハが誇るワンピース構造をもつ全身プロ感覚、1マイクベースの最高峰。
マイク＝Wポールピース・スプリットタイプB-1×1
コントロール＝ボリューム×1、トーン×1
胴＝アルダー＋メープル＋マホガニー
棹＝メープル＋マホガニー
指板＝ストライプドエボニー
胴・棹＝ワンピース構造
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝ロートサウンド・スイングベース弦／重量＝4.3kg
￥120,000

(ST)
ステイン

(NT)
ナチュラル

BB-1000

リードとわたり合うためにもウッドベースのあの歌ごころが欲しい。芯のある低音をストロングに、バランスよく。ロングサスティンが活きる迫真のブロードサウンド。
マイク＝Wポールピース・スプリットタイプB-1×1
コントロール＝ボリューム×1、トーン×1
胴＝アルダー／棹＝メープル
指板＝ストライプドエボニー
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝ロートサウンド・スイングベース弦／重量＝4.2kg
￥100,000

(YS)
サンバースト

(NT)
ナチュラル

BB-800

ソロよし、サポートよしの絶妙の重量バランス。1弦でEまでをカバーする21フレット・フィンガーボード。ソリッドベース界を領導するBBのスタンダードモデル。
マイク＝Wポールピース・スプリットタイプB-1×1
コントロール＝ボリューム×1、トーン×1
胴＝アルダー／棹＝メープル
指板＝ローズ
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整付
弦＝ロートサウンド・スイングベース弦／重量＝4.2kg
￥80,000

(BL)
ブラック

(BR)
ブラウン

PB

リードでもない。ましてやドラムでもない。
“ミスター”の称号はベースマンにだけ許されるんだ。
ロックにスピリッツを吹き込む「PB」

メープルネック
&メープルフィンガーボード
厳選されたメープル材を使用。芯の締った豊かな音量感とスムーズな演奏性の両立に成功。ＰＢ-600にはメープルワンピース削り出しネック。

オーソドックス・フイニッシュ
木地を活かしきった入念な仕上げ。ジャストフィットするバックカッティング、深いカッタウェイがひときわ豪快なベースランニングを可能に。

Wポールピース・スプリットタイプ「P」
1・2弦、3・4弦のそれぞれにピクアップユニット、さらに１本の弦に２コずつのマグネットを対応させたＰシリーズマイク。ストレートでパンチのあるサウンドが特ち味。

(YS)
サンバースト

PB-600

P-Iマイクからは分厚く立ちあがる唸るような低音が。入念に削り出されたセン単板ボディ。メープルワンピースネックのフィット感もすばらしいハイグレードな1本。
マイク＝Wポールピース・スプリットタイプP-I×1
コントロール＝ボリューム×1、トーン×1
胴＝セン単板/棹＝メープル
指板＝メープルワンピース
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝クローバーリーフ型
弦＝フラットワウンド
重量＝4.0kg
￥60,000

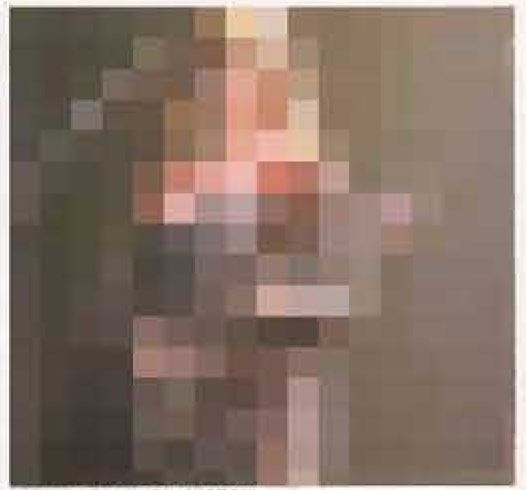
PB-400

オーソドックススタイルのボディに高感度P-IIマイクを搭載。音量感たっぷりの太い低音がベースラインをきわだたせる躍動感満ちあふれたロックンロールベース。
マイク＝Wポールピース・スプリットタイプP-II×1
コントロール＝ボリューム×1、トーン×1
胴＝セン/棹＝メープル
指板＝メープル
胴・棹＝デタッチャブル
糸巻＝クローバーリーフ型
弦＝フラットワウンド
重量＝4.3kg
￥40,000

(NT)
ナチュラル

(YS)
サンバースト

(NT)
ナチュラル



George Terry SG CUSTOM

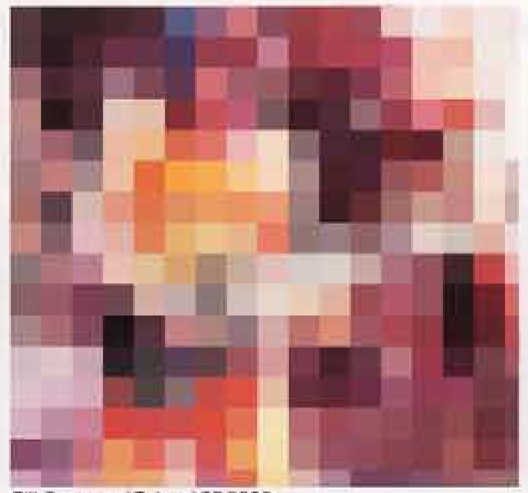
Junshi Yamagishi SA-2000S, SA-700

Jimmy Cliff AE-2000

Miroslav Vitous BB-2000

Ken Watanabe BB-2000

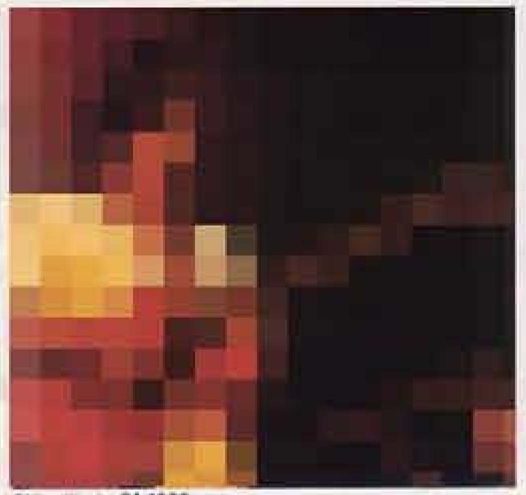
Roger Steen (Tubes) SG-2000



Bill Spooner (Tubes) SG-2000

Julian Junior Marvin (B.M.W.) SG-2000

Ernest Ranglin SF-1000



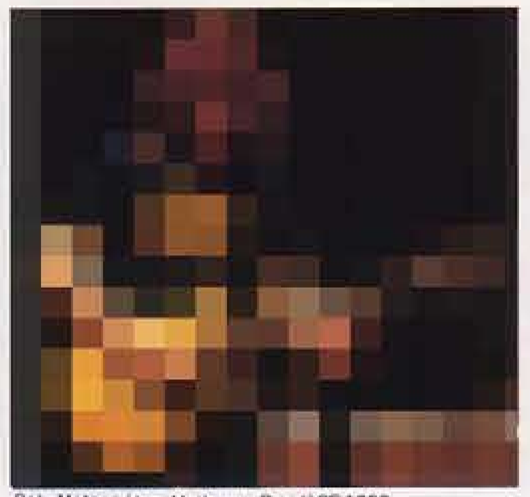
Akira Wada SA-1000

Issei Noro (Casiopea) SG-2000

Keiske Kuwata (Southern All Stars) SJ-800

Takashi Ohmori (Southern All Stars) SA-1000

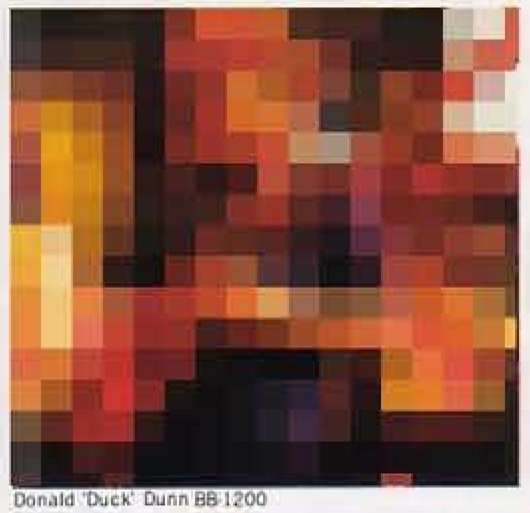
Earl Cate (Cate Brothers) SF-1000



Bob Metzer (Ian Mathews Band) SF-1000

Alex Weir (Brothers Johnson) SA-2000, SG-2000

Suzi Quatro (Tucky) BB CUSTOM



Donald 'Duck' Dunn BB-1200

Mark Andes (Fire Fall) BB-2000

Kazuyuki Sekiguchi (Southen All Stars) BB-2000

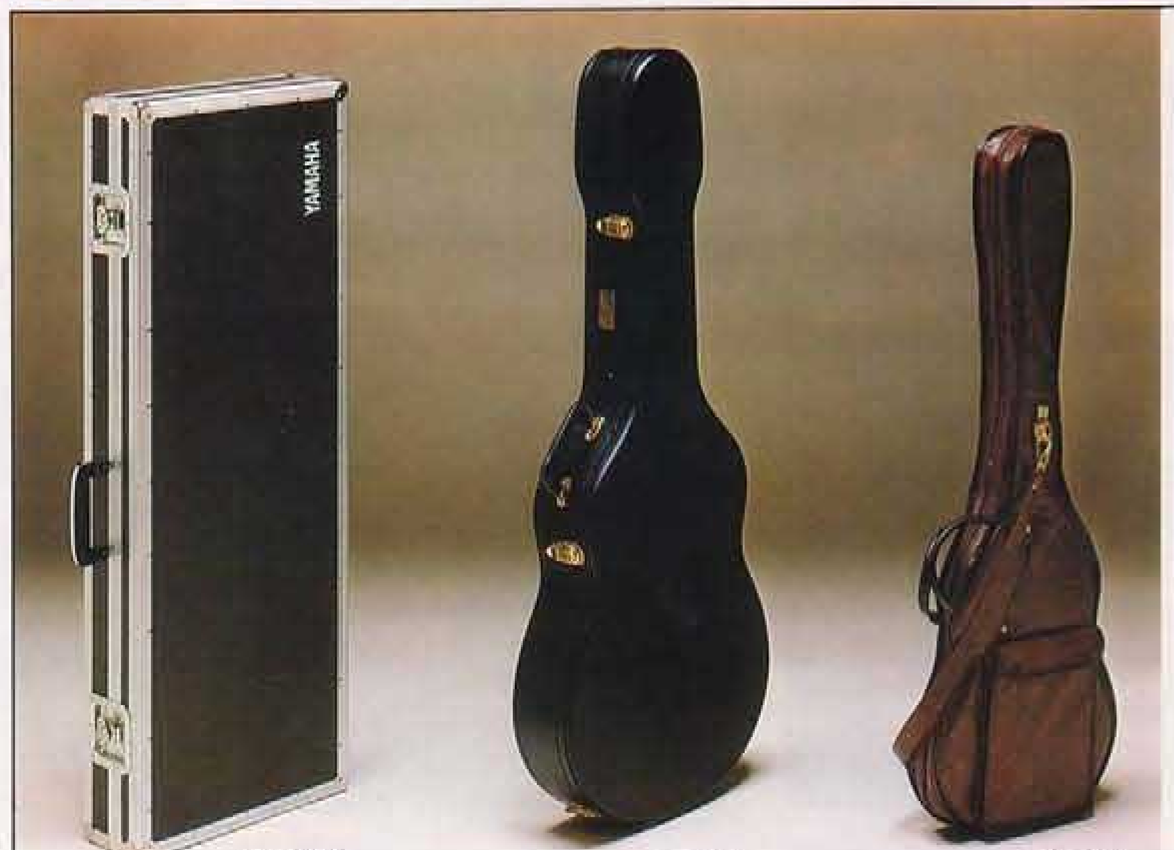
Aston Barrett (B.M.W.) BB-2000

Leebert Morrison (Jimmy Cliff Band) BB-2000

かけがえのない愛器を選ぶコツを
クラフツマンからひと言ふた言

まず、どんな音が欲しいのか。初めて手にするギターはその後の音楽性に決定的ともいえる影響を与えてしまうものだ。ハードでいくか、ソフト&メロウでいくか、はたまたブルージィに泣くか、断然ポップスだとか。人生を賭けるぐらいの意気込みでここは悩みぬいて欲しい。サウンドの傾向を掴みかけたら次は対策だけれど、この段階ではどんな音をどのモデルが出しているかを研究すればいい。どのプレイヤーがどんなモデルでどんな音を出しているかなどと。有名プレイヤーが弾いているかいないかはギター選びのためのひとつの目やすだ。ここまでくると耳に音だこ、手にカタログだこ、目は血まなことなっているのが通例だけれど、サウンドの傾向を掴みきるのもこの時期じゃないかな。カタログでのチョイスはこの上なく楽しいものだ。が、ここはむしろクールにやって欲しい。どんなポリシーをもってギターをつくっているか、それを具体化するためにどんな素材を使っているかを、全体から部分、部分から全体にわたってしつこいほどに見きわめて欲しい。そして、かけがえのない愛器に、見た目だけに凝った音創りに不マジメなギターを掴まないためにも、結局は直接手にとって確かめなければならないことに気がつくと思う。それもギターに強くなればなるほど。ここでようやくにして私たち設計者とギターフリーク諸君がギターを媒介にして出逢うわけなんだ。ここでフリーク諸君、さらに冷静になって欲しい。たとえば、ネックが反っていないか、弦がサビていないか、弦の高さは適正か、ピックアップと弦との距離は……などなど。なぜなら、最終の調整がしっかりしているかどうかで設計者の意図した性能が半減してしまうこともありうるのだ。もちろん、ギターは生きているのだから調整状態も時々刻々変化している。心をオニにしてお店の人に相談しよう。諸君がチェックする時にはそのギターのベストコンディションで試奏できるように！そうすれば生涯のパートナーを見逃すなんて悲劇も防げるだろう。もしギターが決まったら、アンプについても同じように精力的に、冷酷に、魂を込めてチェックしよう。

ACCESSORIES & OPTIONAL PARTS



HARD CASE TYPE-E　　HARD CASE　　SOFT CASE

CASE 愛器の完璧なガードを。充実のケース群。

HARD CASE TYPE-C(スタンダードタイプケース)

SGC	¥12,000	SG, SL series	Full Shape
SFC	¥12,000	SF series	
SAC	¥13,000	SA series	
SRC	¥12,000	SJ, SC, SR series	Boxy
SBC	¥13,000	BB, SB, PB series	

TYPE-D(デラックスタイプケース)

SGD	¥20,000	SG series	Full Shape (高級パッド仕上げ)
SAD	¥20,000	SA series	
AED	¥20,000	AE series	
SCD	¥20,000	SC series	Boxy (成型パッド構造)
BBD	¥20,000	BB series	

NEW TYPE-E(ツアー専用アルミサッシケース)

SGE	¥32,000	SG series	受注生産のため 1.2ヵ月お待ちいただくことがあります。
SAE	¥32,000	SA series	
BBE	¥32,000	BB series	
SBE	¥32,000	SB series	

SOFT CASE TYPE-I(ビニールレザー製)

SGS-I	¥6,000	SG, SF, SL series
SRS-I	¥6,000	SJ, SC, SR series
SBS-I	¥7,000	BB, SB, PB series

TYPE-II(カプロン〈合皮〉製)

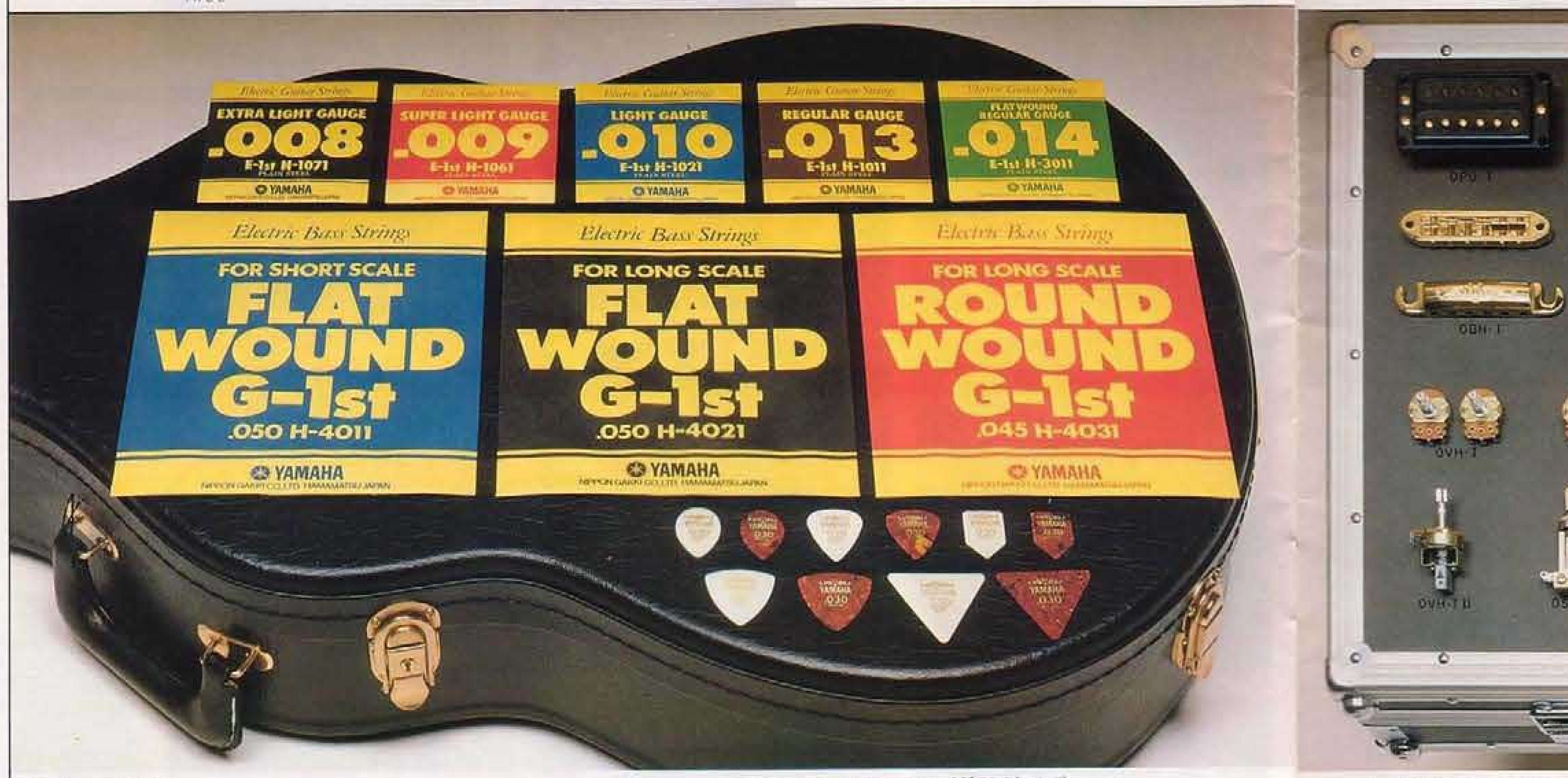
SGS-II	¥8,000	SG, SF, SL series
SRS-II	¥8,000	SJ, SC, SR series
SBS-II	¥9,000	BB, SB, PB series
SAS-II	¥11,000	SA series

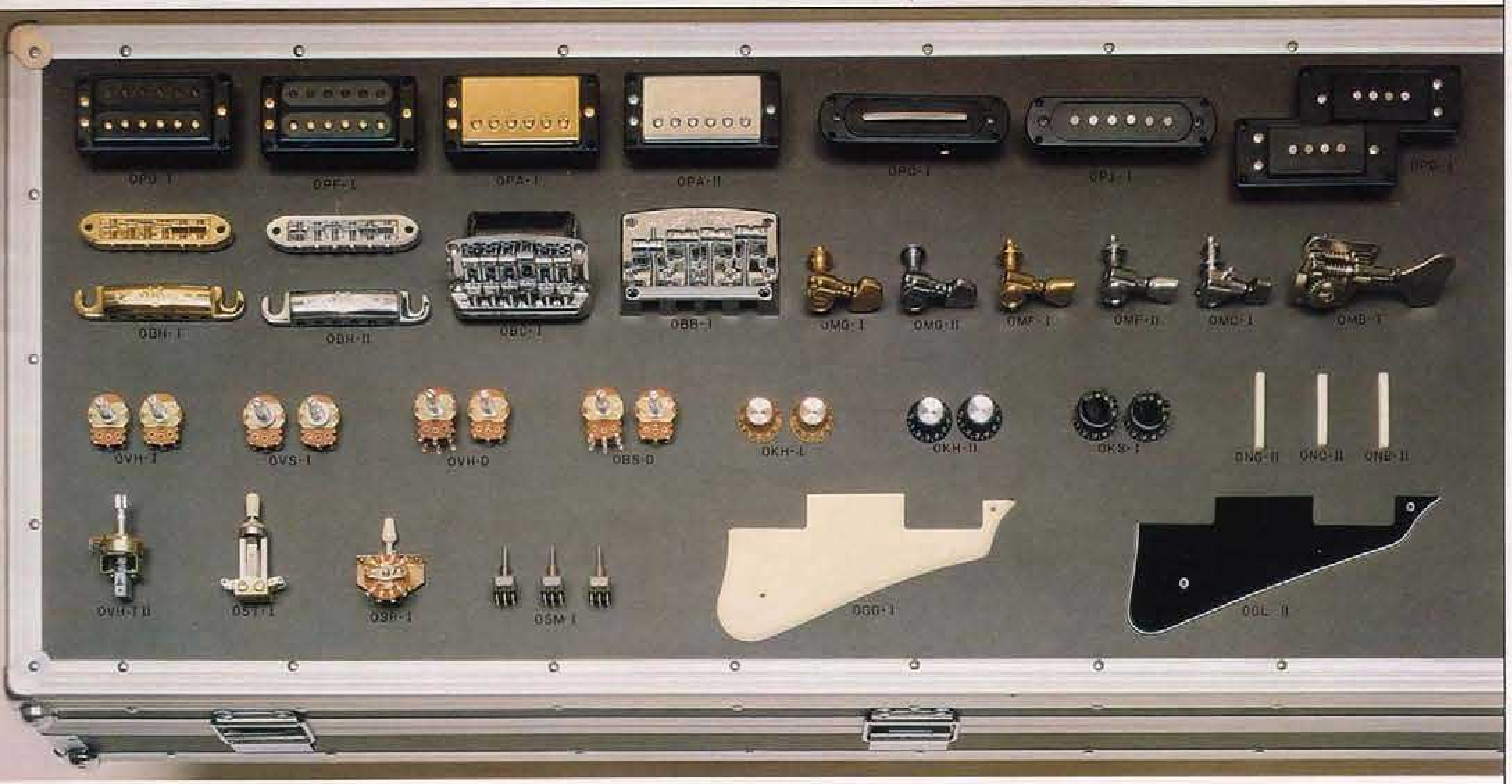
STRAP
ステージルックスも抜群、高級ストラップ。

SP-151E	¥1,500	W60mm	T2.5mm	Black
SP-152E	¥1,500	W60mm	T2.5mm	Brown
SP-153E	¥1,500	W60mm	T2.5mm	Natural
SP-251E	¥2,500	W75mm	T3.5mm	Black
SP-252E	¥2,500	W75mm	T3.5mm	Brown
SP-253E	¥2,500	W75mm	T3.5mm	Natural

SWITCH CORD
ノイズレス設計の音のパイプライン。

GSC-4S	¥1,700	4m	
GSC-7S	¥2,400	7m	
GSC-10S	¥3,000	10m	
GSC-4	¥2,500	4m	キャンバスバックつき
GSC-8	¥3,500	8m	キャンバスバックつき



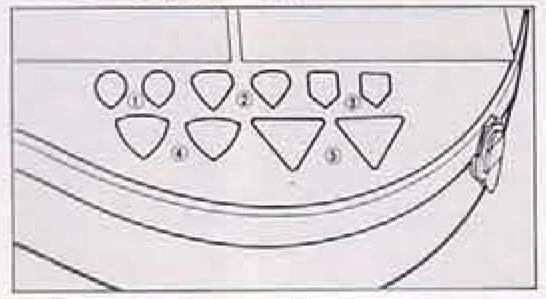


STRINGS いい腕のためのイエローパッケージ。

	E-1st	B-2nd	G-3rd	D-4th	A-5th	E-6th	Set (E-1stスペア付き)
EXTRA LIGHT GAUGE	.008 ¥70	.010 ¥70	.014 ¥100	.023 ¥140	.029 ¥220	.037 ¥300	¥900
SUPER LIGHT GAUGE	.009 ¥70	.011 ¥70	.016 ¥100	.026 ¥140	.032 ¥220	.042 ¥300	¥900
LIGHT GAUGE	.010 ¥70	.013 ¥70	.017 ¥100	.026 ¥140	.032 ¥220	.046 ¥300	¥900
REGULAR GAUGE	.013 ¥70	.016 ¥100	.028 ¥150	.032 ¥220	.044 ¥300	.054 ¥360	¥1,200
FLAT WOUND REGULAR GAUGE	.014 ¥100	.018 ¥100	.027 ¥130	.035 ¥220	.048 ¥300	.059 ¥350	¥1,200

	G-1st	D-2nd	A-3rd	E-4th	Set
FLAT WOUND (For SHORT SCALE BASS)	.050 ¥300	.065 ¥400	.080 ¥550	.100 ¥750	¥2,000
FLAT WOUND (For LONG SCALE BASS)	.050 ¥800	.065 ¥900	.080 ¥1,100	.100 ¥1,200	¥4,000
ROUND WOUND (For LONG SCALE BASS)	.045 ¥600	.065 ¥700	.085 ¥800	.105 ¥900	¥3,000

PICK セルとナイロンの2種類。厚さと硬さ別では50種類のシステムピック。



①Crossover
②Oval
③Pentagon
④Standard
⑤Triangular
各種1枚¥50

OPTIONAL PARTS
グレードアップの決め手。
オプショナルパーツ。

OPTIONAL PARTS LIST

Pick-up Assembly

OPG-I	¥12,000	SG-1000, 2000
OPF-I	¥12,000	SF-1000
OPA-I	¥13,000	SA-2000S
OPA-II	¥10,000	SA-1000, 1200S
OPC-I	¥7,000	SC series
OPJ-I	¥7,000	SJ series (rear)
OPB-I	¥10,000	BB series

Bridge Assembly

OBH-I	¥6,000	SG-1000, 2000 SA-2000S
OBH-II	¥5,000	SG-700
OBC-I	¥6,000	SC, SJ series
OBB-I	¥6,000	BB series

Volume and Tone Control

OVH-I (1V,1T)	¥1,000	SL, SA, SF series SG-600, 2000
OVS-I (1V,1T)	¥1,000	SB, BB series SC-700, 800, 1200
OVH-D (1V,1T)	¥1,500	SG-1000
OVS-D (1V,1T)	¥1,500	SC-1000
OVH-T II (1T)	¥4,000	SG-800, 1000 SA-1200S, 2000S AE-1200, 2000

Volume and Tone Knob

OKH-I (1V,1T)	¥800	SG, SA series SF-1000
OKH-II (1V,1T)	¥800	SF-500, 700
OKS-I (1V,1T)	¥800	SC, SB, BB series

Pick-up Switch

OST-I	¥1,500	
OSR-I	¥2,000	SR-700
OSM-I	¥3,000	SC series (3 pieces)

Tuning Machine

OMG-I	¥6,000	SG-1000, 2000
OMG-II	¥5,000	SG-500, 700
OMF-I	¥5,000	SF-1000, SA-2000S AE-1200, 2000
OMF-II	¥4,000	SF-500, 700 SG-600, 800 SA-700, 1000, 1200S
OMC-I	¥5,000	SC series
OMB-I	¥8,000	BB, SB series

Pickguard

OGL-I	¥1,000	SL-400S, 500S 600S, 700S, 800S
OGL-II	¥1,000	SL-700C
OGG-I	¥1,500	SG-600, 800
OGG-II	¥1,500	SG-1000, 2000

Nut

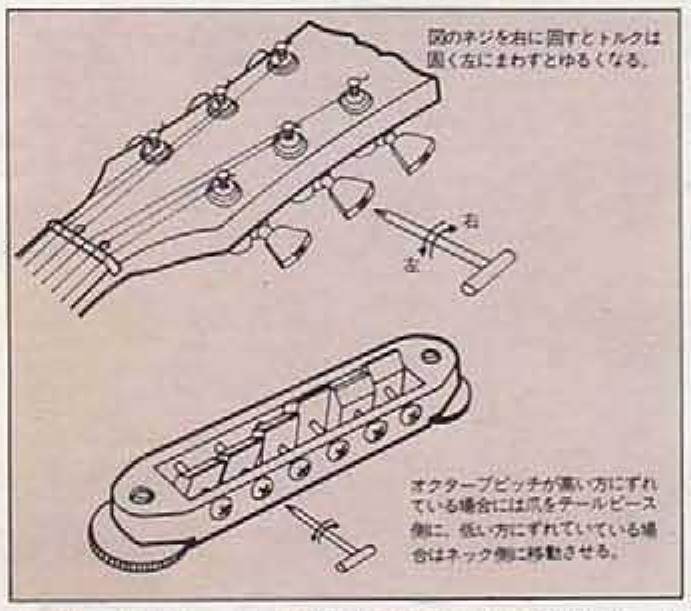
ONG-II	¥2,000	SG, SF, SA series
ONC-II	¥2,000	SC, SJ series
ONB-II	¥2,000	BB, SB series

※上記オプショナルパーツリストはヤマハ着装エレキギター&ベースを表示しています。

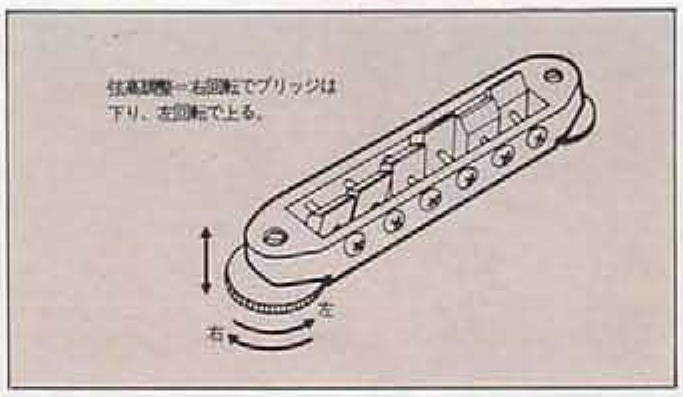
独断と偏見の向こうに真理が見える。愛器のためのチェック&ケアあれこれ。

インストラクター：小林克己

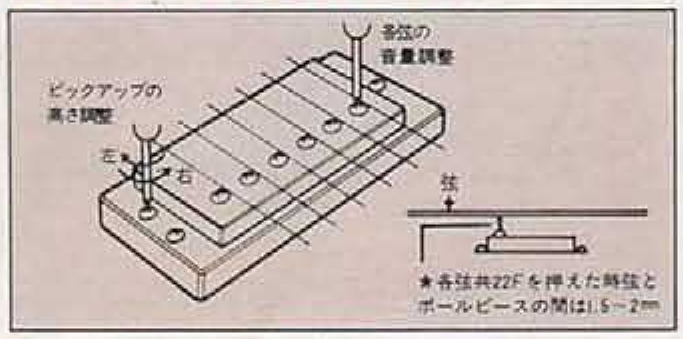
弦の巻き方が雑な人は、絶対にギターが上手くならない。どんな弦でも糸巻に最低3～4回巻きつけること。特に1、2、3弦は10周以上順番通り下に向かってキチンと巻くこと。弦を張ったら次は、男の力、八分の力で5～6回十分に伸ばしてからチューニングをキチッとして欲しい。そして実際に演奏する場所に10分ぐらい置いておいて再度チューニングをすること。要するに、演奏をする場所と同じ温度の所でチューニングしておかないと、弦が伸びたり縮んだりしてチューニングが狂ってしまうのです。**無論、チューニングは万全の注意を払って**やるのが肝心。独りで軽く弾く時でも、バンドの仲間と一緒に奏る時でもこれを厳守すること。つねに正しいチューニングをしていないギターはフレット音痴などの狂いが出やすくなるから要注意ですぞ！また、糸巻を巻いている時やトレ



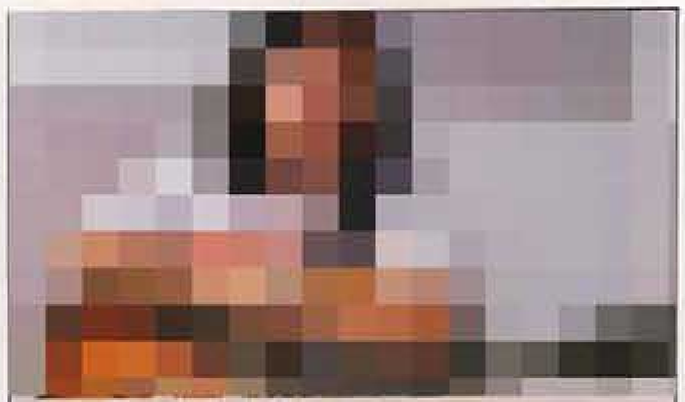
モロアームを使っている時に上駒のところで弦がキッキッときしんだら、弦をホールドしている溝をひろげるとかオイルを塗るとかしてキッキッを早刻追放すべし。たとえば、チョーキングした際にキッと音がしたらもうチューニングは狂っちゃうわけだから。チューニングに関してアト一言。人間の耳はかなり不正確だからしてチューニングメータや音叉をおおいに活用しよう。次に**テンション、つまり弦の張力を強めるにはどうしたらよいか。**ボクのやり方を紹介しよう。上駒から糸巻への角度は糸巻に巻きつける回数で調整し、ブリッジからテールピー



スへの角度は弦高をブリッジで調整しながらテールピースを低くセットする、という方法をとっているんだ。弦が切れやすくなる傾向が出るけれど、弦が傷つきやすいようなブリッジのとがりをヤスリで磨いてその解決策としている。それよりも、弦は1日で1本切るぐらいの覚悟で、強くビシビシ弾く練習をしなければダメなのです。**そして、ピックアップバランスのとり方。**ビギナーにと



ってはイラストのやり方がいちばんクレバーな方法だ。が、腕を上げるにつれ多少の冒険心が生まれてくるのもしかたがないというもの。そこでボクの経験から生まれたピックアップバランスのとり方をひとつ明かそう。それは定説とは逆に、弦からピックアップを遠ざける方法なんだ。パワーのロスはピッキングでカバーするわけ。音量的にも強弱を表現でき、ニュアンスも豊かになるけれど、ピッキングの良し悪しがダイレクトに出てしまうだけに即ビギナー向きというわけにはいかないのです。ところで**弾き終わったアトの手順、つまり保存の方法は**どうしたらいいか。第1に、弦や指板の手あかや湿気を乾いたクロスでふきとり、大敵のサビから完璧なガードを。第2に、湿気はギターの響きを殺し、直射日光は反り・ゆがみ・ヒビ割れの原因になるから保存はギターケ



小林克己氏略歴
●慶応時代から、かの近田春夫とハルヲフォンのリードギタリストとして活躍。●教則レコードの監修、映画「金田一耕助の冒険」の音楽監督兼作曲。「小林克己ロックギター教室全3巻」執筆、ラジオ番組「ヤマハ・ロックスポット」DJなど、ギタリスト、作曲家、アレンジャー、プロデューサーとしてその出没エリアは多岐にわたっている。

ースに入れて。**その際、必ずしも弦をゆるめる必要はない**というのがコバヤシ・ギター・キーピング・メソッドなのだ。なぜかと言うと、最近よく使われる0.09や0.10のゲージの場合かなりテンションが弱いんで、これをゆるめるとかえってネックの逆反りの原因になっちゃうんだネ、こ

れが。(ネック反りの修正方法はイラストを参考に)。ネックを曲げちゃうぐらいならキチンとチューニングしたまま保存した方がいいというわけです。その時注意しなければならないことは**必ずセット弦を張っておくこと。**ベースや太目の弦を使っているギターについては定説通り弦をゆるめて保存して欲しい。ここで最後に、独断と偏見ついでに、**銘器になる保存方法**を伝授しよう。問題は保存場所なのだ。直射日光もいけないが日陰の湿気のある所ももちろん論外。実は、押入れがいいのです。二段あったら当然上の方、天井に近い所ほどいい。天袋があればもう言うことナシ。そこへケースに入れたまま叩き込んでおくのです。この件に関して10年間研究研鑽しているわが悪友からダメ押しの一言。「できればコンクリートマンションではなく、日本古来の木造家屋の天袋だネ」。

●品質向上のためおことわりなく仕様を変更することがあります。価格は55年5月1日現在。 80.5.GD

YAMAHA
日本楽器製造株式会社